

循環型バイオマスシステム

未利用間伐材の有効活用に向けたモデル的な取り組みとして全国的に注目を集めています。森林に放置されている間伐材をかが森林組合でチップ化し、コマツ栗津工場の木質バイオマス燃料に利用しています。



第66回全国植樹祭の開催、心からお祝いを申し上げます。栄えある式典にお招きいただき、コマツの林業機械を披露する機会に恵まれたことは身に余る光栄に存じます。

コマツは地域と企業を一体的に捉え、共に発展するための方策に知恵を絞るべきと考えています。その中で、今回導入した循環型のバイオマスシステムは地方創生のモデルケースとして全国に誇れる取り組みだと確信しています。

工場エネルギーの高効率化はもちろんですが、地産地消による循環サイクルによって農林業が活気づき、里山の手入れや整備が進み、新たな雇用の創出が図られることに大きな意義があります。

これからも創業地である小松市との絆を深め、地元の発展に貢献できる事業に取り組んで参りたいと考えています。



コマツ常務執行役員
栗津工場長
山下 修二

地元と共に
発展する企業へ

木を活かし 未来へ届ける ふるさとの森林業活性化の全国モデルを目指して

第66回全国植樹祭がふるさと小松で盛大に開催されました。和田市長を筆頭に、市を挙げてのおもてなしが随所に感じられる素晴らしい大会だったと実感しています。

今回の植樹祭テーマは「木を活かし未来へ届けるふるさと森」でした。これまで緑の大切さをうたったテーマが多い中で、今回初めて「木の活用」が盛り込まれたことになりました。

適切に管理された森林は木材生産に加え、治山治水や地球温暖化防止などの多面的な機能を発揮してくれます。しかし「木の活用」が進まないままに放置が続くと、若い木が植えられず本来の機能が失われてしまいます。

「木を育て、活用し、また植える」という循環を作り出すことによって、良好な森林を未来に届けるこ

とができます。今回の植樹祭を機に、森林の機能への理解が深まり、子供達が木に触れ合う機会が増えることを願っています。

小松市にある森林は良く手入れされており素晴らしい木がたくさんあります。このことは私達の誇りです。一緒にふるさと森を育んで参りましょう。



石川県森林組合連合会
相談役 有川 光造

今までもこれからも
森林と共に生きる